

本資料は、商品発売に当たって作成された報道機関向け発表資料を転載したものです。

なお、本商品につきましては、新規および追加のご契約のお取扱をしておりません。

2003年6月27日

マニユライフ生命、新生銀行と販売提携し、 投資型年金保険「マニユソリューション」を 新生銀行本支店で販売開始

マニユライフ生命保険株式会社（本社:東京都調布市、代表取締役社長:トレバー・マッシュウズ）は、株式会社 新生銀行（本社:東京都千代田区、代表取締役社長:八城政基）と販売提携し、投資型年金保険商品「マニユソリューション」を、6月23日より同銀行国内本支店において販売開始いたしました。

新生銀行を通じての今回の販売開始にあたり、マニユライフ生命のキース・ウォルター、常務執行役員兼シニアバイスプレジデントは次のように述べています。

「独自の特長によりご好評をいただいている弊社のマニユソリューションを、常に“お客さまに求められる銀行”を目指して躍進を続けている新生銀行を通じて販売できることは大きな喜びです。新生銀行のお客さまにも、資産形成の有力な手段として、必ずやマニユソリューションの魅力をご理解いただけるものと確信しています」

■ 投資型個人年金「マニユソリューション」について

「マニユソリューション」は、昨年2月にマニユライフ生命が全国販売開始した投資型年金保険商品で、“運用成果に関わらず一時払い保険料の80%に基づく基本年金額を最低保証”“投資型個人年金保険としては極めてユニークな元本確保型特別勘定の設定”“元本確保型を含むすべての特別勘定間でスイッチングが可能”“毎年1回解約控除なしで10%の積立金の引き出しが可能”などの独自の商品機能が特長。

また、元本確保型から、フィデリティ投信株式会社、国際投信投資顧問株式会社などが運用する投資信託などを投資対象とする6つのアクティブ型特別勘定を含む、堅実成長型、安定成長型、積極成長型まで、リスクとリターンの程度の違う4タイプ、計10本で構成される特別勘定を備え、お客様の多彩な資産運用ニーズにもきめ細かくお応えできるなど、日本人の投資志向を十分踏まえた投資型年金として全国のお客さまからご好評をいただいている商品です。

マニユライフ生命はカナダに本拠を置くマニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で世界的な格付け会社スタンダード&プアーズ社から、トップクラスの格付けの一つである「AA+」を取得しています（2003年5月現在）。マニユライフ・ファイナンシャルは、100年以上の歴史を誇り、カナダを本拠とし、世界15カ国・地域で事業展開している金融サービスのリーディンググループです。同社職員、エージェント及び販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じ、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスをご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2003年3月31日現在1,416億カナダドル（約11兆3,760億円）となっています。

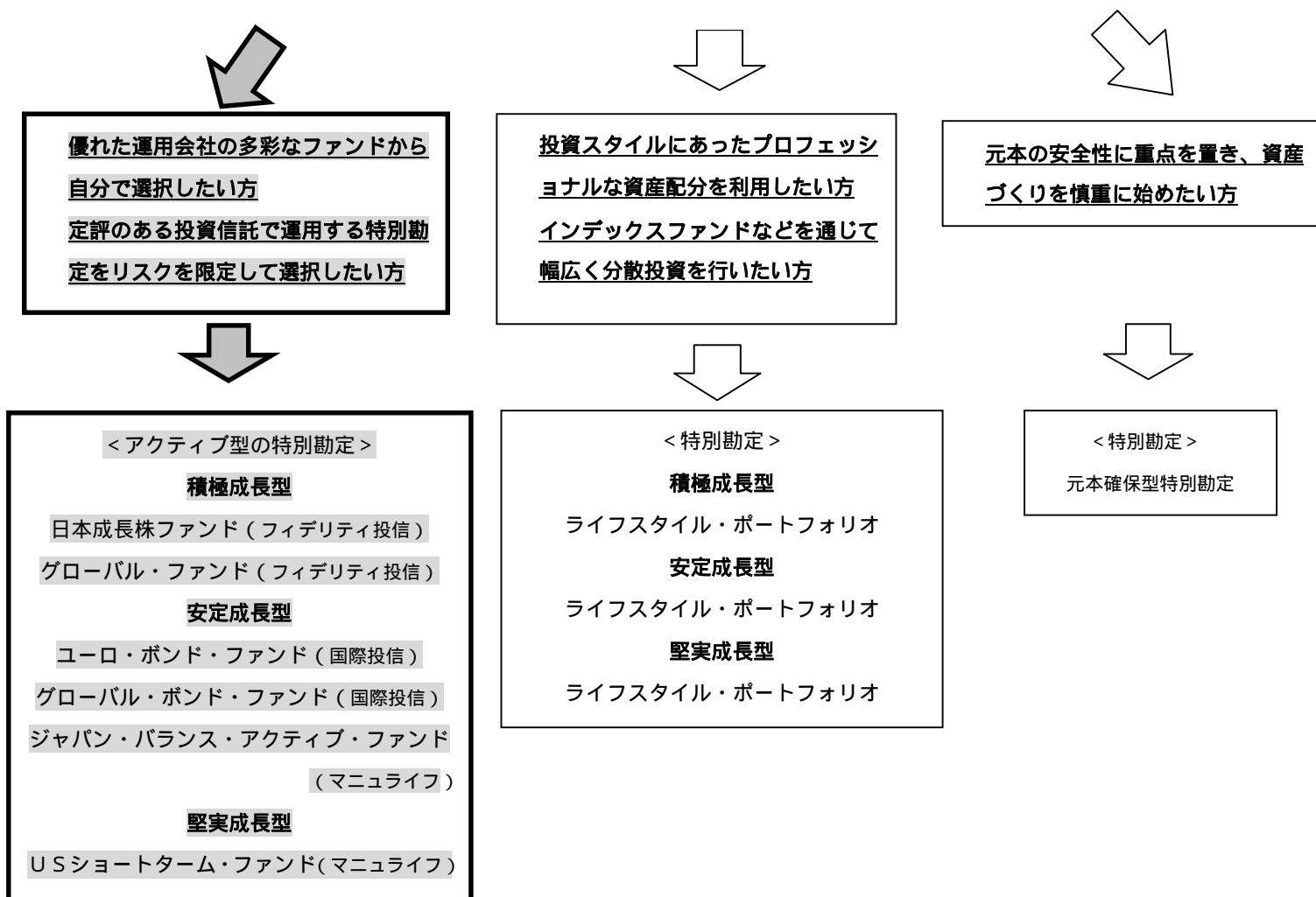
マニユライフ・ファイナンシャル社はトロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所、フィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、香港証券取引所では「0945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細はホームページ（www.manulife.com）をご覧ください。

なお、マニユライフ生命のホームページは以下の通りです。（www.manulife.co.jp）

別紙ご参考資料：

投資型個人年金保険「マニユソリューション」

リスク/リターンチェックシートで、投資スタイルを確認して、お客さまにあった特別勘定をお選びいただけます。



ご好評をいただいている「マニユソリューション」の主な特長：

- 運用成果に関わらず一時払い保険料の80%に基づく基本年金額を最低保証
- 投資型個人年金保険としては極めてユニークな元本確保型特別勘定の設定
- 元本確保型を含むすべての特別勘定間でスイッチングが可能
- 毎年1回解約控除なしで10%の積立金の引き出しが可能